

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第23号 平成26年9月20日

祐介守備に打撃に大活躍！！

初回の先制が勝利を呼び込む！

	1	2	3	4	5	6	7	R
S	0	2	0	0	0	0	0	2
G	3	0	1	2	0	0	×	6



9/20(土) 今期二度目の使用となる、東綾瀬公園野球場の向かい、SCLリバイバルトーナメント1回戦をSLASHと行った。3連敗という事も含めトーナメントという事も含め、今日は何が何でも勝利する、というチーム全員の気持ちで勝負に臨んだ。久々の後攻で、今日は今期負けなしの祐太朗がマウンドに上がり、プレイボールとなった。その先頭打者への入りは、ストライクから、その後6球を投げ、続く7球目を綺麗に中前に運ばれ、走者を出した、そしてすぐさま二盗、次打者にはほぼストレートの四球、更には、次打者に三遊間を抜かれ、無死満塁と絶対のピンチと化した。そして、次打者に投じた2球目をセンターに運ばれ、誰も犠飛による失点かと思った、その後、センター祐介が好捕、そしてショート光希に、そのボールが捕手哲也に渡り、見事補殺のDPを決め一気にこの嫌な雰囲気を一掃した。後続は見逃三に斬り、見事このピンチを0に抑えた。その裏の攻撃、先頭の哲也が相手失策で出塁、その送球が点々としている感に一気に二塁へ、そして次打者の時に三盗、そして、打席には先程好捕を見せた祐介が打席に入る。1-1からの3球目を右線に運ぶ、野手ももたつく感に一気に三塁へ、三塁走者哲也は余裕で生還し欲しかった先制点を挙げる。3番光希が3球目を右に運びこれが犠飛となり、三塁より祐介が生還し2点目。塁上の走者がクリアになった場面で祐太朗が左中間2ベースで出塁、次打者は凡打に倒れ二死となったが、林が嬉しい今期初安打を記録、この打球で祐太朗が一気に生還し3点目を挙げ、初回より展開を有利なモノにした。しかし、2回表、簡単に討ち取った打球を捕球ミスにより走者を出塁させると、次打者の時にWPで親類を許す。そして初回同様次打者には、四球を与え無死一・二塁、次打者に犠打を決められ一死二・三塁とまたもやピンチとなった。そして、後続への5球目、打球は一塁線に転がる。野手がファールか否かの見極めを行っている間に、塁上から2走者が一気にホームインし2点を失った。失点の仕方から非常に嫌な雰囲気がチームに漂ったが、今日のチームは明るかった。失策をしても失点をしなくても、全てチームで吸収出来る雰囲気があった。3回裏、先頭の光希が左前安打で出塁そして二盗、次打者のPB、WPで安打1本で1点を追加。更に4回裏、これも嬉しい今期初安打を山林が記録、次打者も野手失策で無死一・二塁、9番幹男はポテポテの投ゴロが犠打同様になり、それぞれ走者が進塁、そして、ここからは四球と野手の失策で2点を追加し、中押しとした。その後祐太朗も持ち直し、7回まで0点行進し、無事今日のゲームを勝利とした。振り返ってみると、やはり初回の内外連携、そして失策こそ多かったが、それを引きづらないチームの雰囲気、更には、最近出なかった打線の繋がりが勝利を呼んだでしょう。野球は団体競技だが、個人技の集合体、良くも悪くもチームで受け止めて戦ったことが今日の大きな勝因です。この勢いで次節の区民3回戦を突破しよう！